

高鍋

180号 令和6年12月議会

議会だより

日本の文化 新年を迎える慶びを今に伝える風景
 新年を迎える代表的な準備：門松飾りと大しめ縄づくり



【門松飾り】：阿吽の呼吸と七・五・三がすべての基本



【大しめ縄】：息を合わせたリズムで手元は右に、縄回しは左で斜（あざなう）

補正予算他……………P2～P5
 総務・文教
 ・特別委員会審査 他… P6～P7

議会新体制へ……………P8
 一般質問……………P9～P15

みんなやっあふるね

まちの光 第9回 『舞鶴神社総代会の受け継がれる業』



『高鍋町の象徴と言われる 舞鶴神社総代会のみなさん!』



議会広報編集特別委員会



議会広報編集特別委員会委員は、現委員一同継続することを希望しました。「読んだよ。頑張ってるね。」と声を掛けてもらいうるよう、読みやすい内容になるように頑張ります。
 （橋 重文・記）

令和7年の幕開けは、雲一つない初日の出。今年1年を象徴するような素晴らしい年となることを祈念するばかりです。
 12月議会では、議長・副議長・常任委員等の改選がありました。今後とも議員一同、町民一人一人の思いを市政に生かされるよう、行政に求めてまいります。

編集後記

議会だより No.180

令和7年2月21日発行
 ■発行者 高鍋町議会議長 古川 誠
 ■編集 議会広報編集特別委員会
 ■印刷 熊谷印刷(株)

令和6年 12月補正予算

一般会計補正予算

1億4996万8千円を追加し、
総額124億106万2千円になりました。



主な事業

○児童手当	4469万円
○工事請負費（建設発生土処理場整備事業）	3300万円
○障害児給付金	800万円
○東小学校修繕費	660万円
○障害介護給付金	650万円
○下水道事業会計繰出金	600万円
○産業廃棄物処理委託	500万円
○各種予防接種委託	464万6千円
○農業用施設費	401万円
○システム標準化業務委託	280万5千円
○移住支援補助金	170万円
○農地作業手数料	157万円
○倒木土砂撤去作業手数料	116万4千円
○スポーツ合宿補助金	114万円

令和6年第4回定例会が12月5日から17日までの13日間の日程で行なわれ、報告5件、工事請負契約1件、指定管理者指定について1件、条例改正3件、補正予算6件が上程され、審議し、原案通り可決されました。



特別会計補正予算

国民健康保険特別会計補正予算（第4号）（一般被保険者療養給付費他）	3995万円増
後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）（健康診査 郵便料）	10万4千円増
介護保険特別会計補正予算（第3号）	増減なし
下水道事業会計補正予算（第3号）（マンホール高さ調整作業）	600万円増

第3回臨時会

令和6年第3回高鍋町臨時会が11月28日（木）に開催されました。
本年度補正予算の専決処分を承認、人事院勧告に伴う一般職員の給与、会計年度職員の給与に関する条例の一部改正についてなど10議案を審議し、原案通り可決されました。

令和6年 第3回臨時会 可否表

提出された議案と審査結果

◎：全員賛成

番号	件名	結果
議案60	専決処分の承認を求めることについて（専決第6号） [令和6年度高鍋町一般会計補正予算第7号]	◎
議案61	高鍋町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	◎
議案62	高鍋町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	◎
議案63	高鍋町寡婦医療費助成に関する条例の一部改正について	◎
議案64	令和6年度高鍋町一般会計補正予算（第8号）	◎
議案65	令和6年度高鍋町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	◎
議案66	令和6年度高鍋町介護認定審査会特別会計補正予算（第2号）	◎
議案67	令和6年度高鍋町介護保険特別会計補正予算（第2号）	◎
議案68	令和6年度高鍋町一ツ瀬川雑用水管理事業特別会計補正予算（第1号）	◎
議案69	令和6年度高鍋町下水道事業会計補正予算（第2号）	◎

衆議院選挙にかかる費用 1160万5千円

— 内 訳 —

報酬..... （選挙管理委員・開票管理者・立会人などへの報酬）	173万5千円
職員手当等..... （時間外勤務手当）	160万円
報償費..... （投票事務従事者・開票事務従事者などへの謝礼）	313万7千円
旅費..... （会計年度任用職員通勤手当など）	1万5千円
需用費..... （消耗品などの費用）	129万7千円
役務費..... （後納郵便・切手代・選挙公報宅配料など）	230万8千円
委託料..... （ポスター掲示場設置管理委託）	124万円
使用料及び賃借料..... （会場使用料・個人演説会会場借上料など）	27万3千円

補正予算は どのようなところで使っているの？

今年の台風10号による

竹鳩橋の流木撤去

費用 116万4千円



今年の台風10号による

秋月墓地通路の被害状況

費用 42万6千円

早く改修をして遊歩道が通れるように



補正予算の一部を 写真で紹介します。

マンホールの高さを そろえる工事の様子

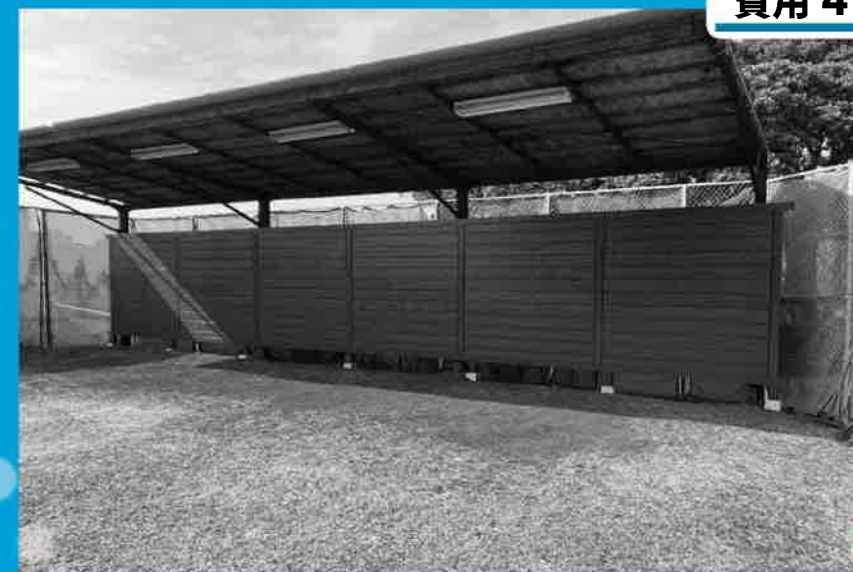
費用 300万円



MASUDAスタジアムの投球場整備

投手側の老朽化したネットを取り除き、新たに杉板の壁となり、スポーツキャンプにむけた環境を整えました。

費用 41万2千円



◆ 常任委員会審査 ◆ （本会議から付託された、議案や請願などについて審査を行います）

総務厚生常任委員会

高鍋町駅交流拠点施設の管理者指定について

地方自治法の規定により、高鍋町特定非営利活動法人高鍋町観光協会を指定管理者とする。

高鍋町駅交流拠点施設は、利用者の利便性及び複数の交通手段を繋ぐ機能の向上を図るとともに、交流人口の増加を促進し、地域交流の拠点として設置する。このことから管理業務には施設の維持・管理他観光案内や賑わい創出を目的としたイベント等の企画、開催も含まれる。これらの業務に民間の創意工夫やノウハウを活用することで、利用者のニーズを反映した質の高いサービスの提供が可能となり、満足度の高い施設活用が期待できると考えている。

高鍋町印鑑条例の一部を改正する条例について

令和7年2月1日から開始を予定しているコンビニ交付サービス事業において、マイナンバーカードを利用した多機能端末機による印鑑登録証明書の申請・交付を実施するための条例整備。これにより本町に住居登録のある人は閉庁時でもマイナンバーカード等を利用してコンビニ等で多機能端末機から印鑑登録証明書の交付を受けることが可能となる。

併せて、役場窓口での印鑑登録証明書の交付時においても本人に限ってマイナンバーカードで申請することができる。

児童手当交付金について

「子ども未来戦略」に基づき①所得制限の撤廃②高校生年代までの支給期間の延長③多子加算について3万円とする。令和6年10月分から実施。

支払い月を年3回から隔月（偶数月）の年6回とし、初回支給を令和6年12月とする。

文教産業建設常任委員会

◆ 令和6年度高鍋町一般会計補正予算（第9号）

【債務負担行為】児童生徒用タブレットPC更新費用について

令和2年度にガスクール構想により1人1台の端末を整備したが、令和7年度で5年が経過することから、全児童生徒分約1500台のパソコン更新費用を計上。建設発生土処理場整備について

令和3年、静岡県熱海市で大雨に伴って盛土が崩落し、大規模な土石流災害が発生したことや、危険な盛土等に関する法律による規制が必ずしも十分でないエリアが存在していることを踏まえ、盛土規制法が令和5年5月26日に施行された。宮崎県では、令和7年5月に規制区域を指定する予定。町では、めいりん公園東側の養魚場跡（町有地）に、建設発生土処理場を整備する費用を計上。農業用施設の災害復旧工事について

羽根山、越ヶ溝、東小並の3か所での農業用排水路の法面及び大谷地区の農道法面の復旧工事費用を計上。

【債務負担行為】ふるさと納税返礼品取扱業務委託の期間延長について

課題改善や寄附額向上にむけて、ふるさと納税推進事業者と連携し新商品の開発・増強など様々な強化を図っており、その成果が徐々に見え始めている。委託事業者を変更することで、寄附獲得の流れを止めてしまうことを避けるため、1年間延長。

秋月墓地付近の遊歩道の修繕費について

台風10号の影響により、秋月墓地へつながる遊歩道の一部が崩落したことから、復旧を図るための費用を計上。

◆ 特別委員会審査 ◆

特別会計予算及び条例審査

令和6年度高鍋町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

健康保険証の廃止及び資格異動窓口業務の移管に伴う事務量の増による職員の時間外勤務手当の増。

10月からの郵便料金改正に伴う増。

国保市町村事務処理標準システム保守業務委託ほか1件の債務負担行為の設定。

令和6年度高鍋町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

10月からの郵便料金改正に伴う増。

令和6年度高鍋町介護保険特別会計補正予算（第3号）

サービス費の不足に伴い、歳出の費目間で調整。通所型サービスA事業委託ほか、11件の債務負担行為の設定。

※通所型サービスAとは、要支援認定者及び総合事業対象者に生活機能の維持及び向上を通じて、要介護状態となることの予防または、要介護状態等の軽減もしくは悪化の防止を行い、地域において自立した日常生活を送ることができるよう支援する事業。

介護認定の審査は、全国一律で厚労省の要領に従って審査している。

令和6年度高鍋町下水道事業会計補正予算（第3号）

町道東町(1)線の道路改良工事に伴うマンホール7か所の高さ調整作業手数料の増。

公共施設設置工事予定箇所増のための修繕費の増。

公共下水道の進捗率は、事業計画画区域に対して97・1%が完了となっている。

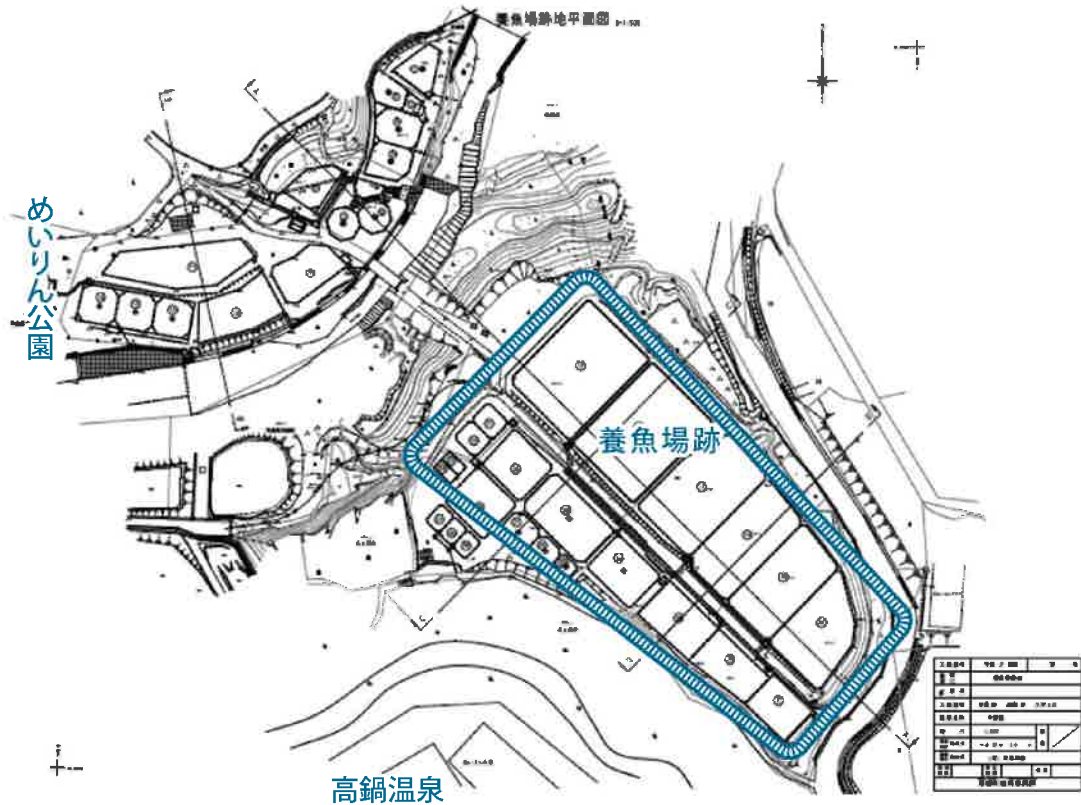
令和6年 第4回定例会 可否表

件名		(○)賛成 × 反対 欠席																※議長は採決に加わりません	
		1 口高正則	2 森崎英明	3 橋重文	4 春成勇	5 兒玉秀人	6 中村末子	7 永友良和	8 森弘道	9 加藤秀文	10 榎原富子	11 松岡信博	12 緒方直樹	13 田中義基	14 古川誠				
議案 71	高鍋駅交流拠点施設の指定管理者指定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○					
議案 73	令和6年度高鍋町一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○					

以下の議案は、全員賛成で可決されました。

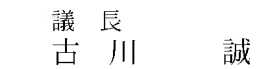
議案 70	令和6年度茂広毛平付・高岡線道路改良工事請負契約について
議案 72	高鍋町印鑑条例の一部改正について
議案 74	令和6年度高鍋町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
議案 75	令和6年度高鍋町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
議案 76	令和6年度高鍋町介護保険特別会計補正予算（第3号）
議案 77	令和6年度高鍋町下水道事業会計補正予算（第3号）
議案 78	高鍋町常勤特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について
発議 3	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について
議案 79	令和6年度高鍋町一般会計補正予算（第10号）

予定されている建設発生土処理場

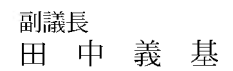


令和6年12月～2年間の議会体制へ

令和6年12月2日の第4回臨時会におきまして、新しく議長と副議長が決定し新体制となりました。また、「総務厚生常任委員会」と「文教産業建設常任委員会」も新たな委員会になりました。



議長あいさつ



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年12月に議長に就任いたしました。議会の代表という職責を担い、身の引き締まる思いですが、町政の発展及び町民の福祉の向上を図るとともに、より開かれた議会を目指し、行政と一体となって職務にあたつて参ります。

また、宮崎県におきまして、8月に日向灘を震源とする地震が発生し、高鍋町でも過去にない強い揺れを経験しました。近年100年に一度と言われるような災害が全国各地で毎年のように起きています。これからは、このような災害への備えを強化していくことが自治体の一番の課題だと考えています。

これからも 未来を考えた町政の課題解決に、議会の役割を最大限発揮できますよう使命感をもつて取り組んでまいります。

議 会 傍 聴 ア ン ケ ー ト

講師は元茨城県小美玉市職員で現在、政策形成、シテイプロモーション、広報などを手掛けている中本正樹氏でした。

- ①読んだ人の行動変容を意識している
- ②心を変化させる
- ③まちにマジになる人を増やす

9人が登壇



9人が登壇

あなたの声を町政に 一般質問

一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長や教育長等の方針を問うものです。議員一人の持ち時間は3.0分です。議会日よりでは本人の要約書をもとに、その内容を約9,000字にまとめ、お知らせしています。

詳細（会議録）は後日、町のホームページから閲覧できます。

第4回定例会に、傍聴にこられた方にアンケートをお願いしました。

◆これまで議会を傍聴されたことがありますか。

一般質問のお知らせ……………(10)

ホームページ……………新聞……………(0)

議員から……………LINE……………(0)

その他……………(1)

議 会 関 心 有 限 公 司

◆議員の発言内容はよくわかりましたか

よくわかった……………

- ・初めて参加しました。議会のありか

- ・高鍋と町民に広く関心を持ってもらうための案として、SNSの活用を勧めます。
- ・登壇者の迫力は欠けるが町の状況が分かる良い質問でした。



議 会 運 営 委 員 会

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
古川	田中	橋重	中村	日高	松岡	緒方
	義基		末子	正則	信博	直樹
誠						

総務厚生常任委員会

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
古川	加藤	檜原	森崎	中村	緒方	日高
	秀	富	英	末	直	正
誠	文	子	明	子	樹	則

文教産業建設常任委員会

委員長 橋重文	副委員長 松岡信博	委員 森岡弘道	委員 兒玉秀人	委員 春成勇	委員 永友良和	委員 田中義基
------------	--------------	------------	------------	-----------	------------	------------

委員 森 弘道

生活環境整備の要望への取り組みは

担当部署の内容見解や
予算等で可否を判断

松岡 信博 議員



町民や公民館の要望を実現する政策は。

町長 神奈野坂や竹鳩橋は避難道路であり緊急に取り組み。町民の要望は、緊急性・重要性・費用等を考慮し優先順位を決める。

意見 竹鳩橋建設で8億から15億円つぎ込むようでは、町民の「きめ細やかな行政サービス」はできない。学校校舎の改修工事が遅れ築80年の老朽化した校舎で子供を学ばせる計画がその証拠。

町長 町の財政状況を心配し高齢者に「自

分達も出来るだけ我慢をする」と言わせる町長は「申し訳ない」と思わないのか。

町長 財政状況のどこが悪いのか理解に苦しむ。

意見 企業誘致や竹鳩橋建設で財政調整基金を取り崩し、借金を積み上げる無神経で無謀な行政運営では、経営者としては優秀でも、行政執行者としては「無能」と言われてしまう。

町長 町長室に直接来る要望に「町営住宅の滞納者の保証人が返済を免れるため町長室にお願いに行った」と聞いたが、個人的なことは言えないが町営住宅の家賃の質問はある。

町長 町長に個別にお願いし、町長の取り巻きの人達が利益供与を疑われる補助金や恩恵を受けているのではと厳しい目が向けられている。町長室の密室で物事が決まるのでは町民は納得しない。

町民の要望・提案等に対して町の回答・返事の記録を公開する「町民の声制度」の取り組みは。

町長 他自治体を参考に制度構築を検討。

意見 町民の悩み・要望を受け止める姿勢がなければ、町民の幸福を支える行政は実現しない。生活を守ってくれる「安心感」が、住みたい町・住み続けたいという町民の「想い」や「郷土愛」を育てる。

町長 竹鳩橋建設に伴う費用便益分析調査の評価結果は、費用便益率は2.78であり、非常に高い事業効果を生むと保証された。

意見 調査結果には、木城町や川南町ほか、高速度道路を通行する県内外の全利用者の含め計算。広域的に利用される橋建設費用を高鍋町民だけが負担するのは不公平。

永友 良和 議員



収入保険の掛け金に対する上限5万円の補助事業は。

町長 続けていくべきと考える。また、いろんな条件等も検討していきたい。

町長 令和8年度までは継続し、令和9年度以降は、8年度までの費用対効果を踏まえて判断する。

農業従事者に対する補助事業は
継続及び予算に応じて検討する

野生鳥獣の被害防止の電気防護柵導入の補助については、今後も継続していきたい。

町長 農業用機械、農業用施設の取得に係る経費の補助の予算枠の拡大は。

町長 補助事業の効果が見られるようにするためには、どのような対応が必要かを検討する。

町長 災害防止のための非常用電源の導入を行うメニューがあるので、こちらの活用をお願いしたい。

町長 そのような事業があれば、農業者の方々に周知してほしい。

町長 町予算全体のバランスを見ながら検討する。

町長 災害ゴミ受け入れの対応は。

町長 災害廃棄物処理計画等に基づき、国や県近隣市町村と連携し対応する。

町長 ゴミの回収場所。

町長 仮置場として町有地を考えている。

Answer

竹鳩橋架け替えのために
一般会計の歳出や歳入は
歳出は経費の節減、歳入は税収の確保

Answer

橋 重文 議員



年収の壁が103万円から178万円になった場合、高鍋町はどのくらいの減収に。

町長 約3億円。

町長 竹鳩橋架け替えのために歳出はコスト意識を持ち、事業見直しで経費削減に努めるとは。

町長 具体的に定めていないが、必要

町長 「調査結果を宮日新聞記者に話す」と、「報道規制」を議会議員にした理由は。

町長 コンサルが出した数字は正確ではない。仮定の数字が独り歩きをしないため。

意見 (調査結果は正確でない)と確認。調査結果を隠す姿勢は、町長の政治成果をアピールする。

町長 「名誉欲」に防衛省の補助制度を利用する「罪悪感」に見える。

町長 竹鳩橋建設で町民負担や住民サービスはどうか。

町長 教育や福祉・医療サービス他、基本的な住民サービスは国が支える事業で国が保障する。高鍋町の財政状況で変化しない。

町長 企業誘致や竹鳩橋建設その他事業で費用対効果の無い財政支出が50億円を超えてしまう。町民にとって無謀で無駄な予算措置は、町民サービスが間違いない低下する。町民に与える「実害」を町長自身が想像できないことが問題。

町長 企業誘致や竹鳩橋建設その他事業で費用対効果の無い財政支出が50億円を超えてしまう。町民にとって無謀で無駄な予算措置は、町民サービスが間違いない低下する。町民に与える「実害」を町長自身が想像できないことが問題。

町長 企業誘致や竹鳩橋建設その他事業で費用対効果の無い財政支出が50億円を超えてしまう。町民にとって無謀で無駄な予算措置は、町民サービスが間違いない低下する。町民に与える「実害」を町長自身が想像できないことが問題。

町長 性、財源の確保、事業の縮小・廃止の可否等を積極的に検討。

町長 今後、道路の整備補修等減らすのか。

町長 今まで通り、計画を立てて行う。

町長 下永谷地区の踏切横の町道及び雑草が生い茂って見通しが悪い状態が8月から11月まで放置されたが、このようなことが今後続くと生活しづらくなっているが稀な事例か。

町長 この件については対応が遅くなり申し訳ない。要望に早急に対応出来るよう努力したい。

町長 町外から誘致した企業は。

町長 令和8年度までは継続し、令和9年度以降は、8年度までの費用対効果を踏まえて判断する。

町長 令和8年度までは継続し、令和9年度以降は、8年度までの費用対効果を踏まえて判断する。

町長 令和8年度までは継続し、令和9年度以降は、8年度までの費用対効果を踏まえて判断する。

町長 令和8年度までは継続し、令和9年度以降は、8年度までの費用対効果を踏まえて判断する。

町長 令和8年度までは継続し、令和9年度以降は、8年度までの費用対効果を踏まえて判断する。

町長 令和8年度までは継続し、令和9年度以降は、8年度までの費用対効果を踏まえて判断する。

町長 令和8年度までは継続し、令和9年度以降は、8年度までの費用対効果を踏まえて判断する。

町長 令和8年度までは継続し、令和9年度以降は、8年度までの費用対効果を踏まえて判断する。

町長 令和8年度までは継続し、令和9年度以降は、8年度までの費用対効果を踏まえて判断する。

町長 令和8年度までは継続し、令和9年度以降は、8年度までの費用対効果を踏まえて判断する。

町長 令和8年度までは継続し、令和9年度以降は、8年度までの費用対効果を踏まえて判断する。

町長 令和8年度までは継続し、令和9年度以降は、8年度までの費用対効果を踏まえて判断する。

町長 令和8年度までは継続し、令和9年度以降は、8年度までの費用対効果を踏まえて判断する。

町長 令和8年度までは継続し、令和9年度以降は、8年度までの費用対効果を踏まえて判断する。

町長 令和8年度までは継続し、令和9年度以降は、8年度までの費用対効果を踏まえて判断する。

町長 令和8年度までは継続し、令和9年度以降は、8年度までの費用対効果を踏まえて判断する。



生分解性マルチを使って定植したキャベツ

Question

本町での技能実習生について

人手不足の解消に大きく貢献している

Answer

加藤 秀文 議員



問

実習生への評価はどうなのか。

地域政策課

技能実習生は素直で真面目な方が多く非常に勤勉であるので、事業所にとってなくてはならない存在であると伺っている。

問

今後実習生の人数はどう推移すると考えているのか。

地域政策課

日本全体で増加傾向にあり、本町においても同様に技能実習生の受入れが進むと

問

実習生が増えた場合、どうなる

地域政策課

働き手の確保だけでなく、国際的な交流や多文化共生の促進にも寄与される事が期待される。

意見

人口が増える事で各分野の人手不足問題を解消し人材を確保する事ができる。また、空き家問題を解決する事が出来るのではない

意見

問

物心両面のサポート対策はあるのか。

地域政策課

技能実習生が地域社会の一員として円滑に生活できるようにコミュニケーションを深めるため関係機関と連携し課題の共有を図っている。

意見

難しく考えるのではなく、温かく迎え、普通に挨拶し話しかけ日常の会話を交わし、楽しく生活して頂ける事が重要。

◆「歴史と文教の城下町高鍋」とは

問 小中高の生徒はどれ程歴史を知っていると考えているのか。

➡

Question

介護保険法改正に伴う利用者の不具合は

3事業所の休止を把握

Answer

中村 末子 議員



問

平成12年の介護保険導入時は、居住介護を重点にしていたが、国は方針転換し施設介護を重点にしていた。その結果、担い手は安い給料で役員報酬を高く設定した事により、担い手は次々と辞める事になりました。特に訪問介護における費用負担を制限された事により事業所が閉める事がない事業所が5年間で8648か所に上る様だ。高鍋町ではどうなっているのか。

町長

高鍋町の訪問介護事業所の状況については、3事業所の休止を把握している。その要因は、ホームヘルパー等の人材不足であると同っている。自宅介護の状況については、ケアマネージャーへの聞き取りやケース対応の実態把握に努めている。

問

介護保険法の改正はどの様に推移してきたのか。

健康保険課

加齢に伴う病気の増加に伴う介護状況となり、入浴・排泄・食事等の介護機能訓練、看護、療養上の管理等の医療が必要となる人に対して、保健医療サービス、福祉サービスを提供する制度として、国民の共同連帯の理念に基づき創設されたものである。

また、出来る限り自分の住まいで能力に応じ自立した日常生活が営める様支援する事が基本理念として、

◆少子化に伴う教育環境整備の遅れをどうとらえているか

問

住民から教育環境整備の遅れが指摘されている。町長と教育長の見解はどうか。どの様な環境整備を考えておられるのか。

町長

少子化による児童生徒の減少は避けられない。統廃合の問題もあるので、将来の学校の在り方を予測しながら整備を進めたい。

➡

高鍋議会だより

(12)

Question

歴史を活かした町づくり 秋月墓地整備計画は 大規模な整備計画はない

Answer

兒玉 秀人 議員



問

石井十次先生について学ぶ場として石井十次記念館が必要ではないか。

町長

必要性は十分に感じていない。まずは二ノ丸文政史料館の展示を充実させたい。また、石井十次顕彰会と連携し、石井十次の集いや生誕祭の展示を充実させていく。

問

教職員への歴史・観光・文化について現地での研修が必要ではないか。

教育総務課

新規採用の先生方に行っている講義形式の研修を次年度以降、現地を訪れるなど体験を取り入れた研修を検討している。

問

7月に就任した教育長として本町の学校教育の課題はどのようなものか。

教育長

町内の小・中・高6校が情報を共有し、共に課題解決に取り組む、相互に連携しながら教育に取り組んでいくことが、最も大きな課題と考えている。

問

学校の教員不足と対応はどのようになっているのか。

教育総務課

小・中学校で2名の臨時任用講師が不足している。現在は非常勤講師により不足を補っている。

問

闇バイトなどの犯罪がありSNS上には重要な教育が今以上に重要ではないか。

教育総務課

学校では、インターネットを活用した調べ学習で発信元の確認や情報の信頼性を判断している。教育委員会は、啓発リーフレット等を活用し指導している。

問

◆いじめ問題についていじめが過去最多となったが、

問

本町はどのような傾向か。増減に決まった傾向はない。例年、中学校より小学校が多い傾向にある。

教育総務課

スポーツ少年団のいじめは、どのように対応しているのか。

社会教育課

スポーツ少年団は直接聞いていないが、問題が発生した場合は、聞き取りをして関係部署と連携して対応する。

問

◆福祉問題について高齢者の特定福祉用具購入または住宅改修費用の受託委任払い出来ないか。

健康保険課

今後、需要も見込まれるので、早急に導入する方向で検討したい。

問

重度障害児の家庭においてスロープ等を設置する場合、住宅改修の補助となっているが、改修ではなく新築時の補助は出来ないか。

健康保険課

国の実施要項に基つき事業を実施している。要項には小規模な住宅改修を伴うものと規定されているので、新築は対象外となっている。



秋月墓地の整備を

(13)

令和7年2月発行 (第180号)

Question

町道の維持管理は

町道の維持管理には機械の導入が必要である

Answer

日高正則 議員



は報告されているのか。
建設管理課長 昭和61年度から要望書を保管しており、要望案件としては400件。要望内容を精査の上、重要案件については報告している。
問 現在、残っている案件はどのようなに改修を進めて行くのか。
建設管理課長 要望内容を精査し、緊急性、安全性などを優先的に行うことで順位をつけて対応していく。

問 地区ごとの共同作業が、高齢化に伴い難しくなっているが、町長の認識はどのような対策が必要だと思っているのか。
町長 道路愛護事業を今後も継続していく必要がある。安全な町道の維持管理のためにも町による草刈作業を増やしていくことが必要と考える。

要望 機械の導入をして頂き、町道の草刈り、樹木伐採等を行い、町道の維持管理を図ってもらいたいと考えている。
◆防災の取組みについて
問 町長として自然災害等の防災の取組についての認識は。

問 公民館長名で町道の改修等の要望書は何年度から提出され、全体件数は、町長に

課長 主要備蓄品のうち備蓄食料及び備蓄毛布は毎年購入、備蓄数を増やしている。簡易トイレ10台並びに携帯トイレ1万回分備蓄を増やしている。

町長 災害への対策を進めていくために防災備蓄品の購入や避難所の整備、防災計画やハザードマップの見直し、町民の防災意識を高める努力など災害に強い安心できる町づくりを進めてまいりたいと考える。
問 自主防災組織の設立件数は。
町長 町では主に自治公民館単位で設立されているもので28団体となっている。
問 行政がサポートしている取組は。
課長 防災に関する資料の購入に對し補助額40万円年間2地区を対象としている。
問 本町の防災士の人数は。
課長 危機管理課で把握している町内在住の防災士数は172名です。

問 防災士資格者を対象とした合同研修会を開催しているのか。
危機管理課長 令和4年度から毎年、町内在住の防災士を対象にした防災士フォローアップ講座を開催している。備蓄品の準備状況は。

課長 主要備蓄品のうち備蓄食料及び備蓄毛布は毎年購入、備蓄数を増やしている。簡易トイレ10台並びに携帯トイレ1万回分備蓄を増やしている。



老朽化している町道

Question

高鍋町の将来の財政を見据えて

自主財源の確保が必要

Answer

森崎英明 議員



組強化に努め、財源を確保していききたい。
問 財政調整基金の使途については、税収入の落ち込み、災害時の備え、様々な事態の支出に對する財源と思うが、基金活用の考え方は。
財政経営課長 予算の編成に際し町税などの一般財源のほか、国、県支出金や地方債、特定目的基金繰入金など特定財源を充当し、財源が不足する場合に財政調整基金を取り崩して予算調整している。
問 防犯灯設置について。
危機管理課長 町内の防犯灯は、地区からの要望により1500か所に設置してある。犯罪の防止、交通安全の面からも効果を発揮すると考えている。地区からの要望があれば、予算の許す限り適時対応したい。

問 高鍋町の将来における財政の課題については、人口減少による税収の減、高齢化による社会保障費の増加などの課題に直面すると思うが。
町長 一部の大都市圏を除き全国の自治体において人口減少時代の到来に伴い、税収の減収や少子高齢化の進行に伴う社会保障費の増加が懸念される。持続的な産業の進行や、人口減少対策、ふるさと納税の取

問 竹鳩橋の建設によって長期的な経済効果が現れ、財源の確保に繋がるのか。
町長 災害対策、交通の安全性、地域の経済の活性化、命の道の確保、交通要綱の整備などの効果により、あらゆる分野において活性化が進むことで経済効果がもたらされ、財源の確保につながる事を期待している。
問 防犯カメラの設置状況について。
危機管理課長 設置は大きな効果があるものと認識しているが、設置費用も考慮しなければならず、また、住民のプライバシー保護など課題があるので十分に検討する必要がある。

高鍋議会だより

(14)

Question

ウォーターPPPの導入による官民連携は現時点のところ考えていない

Answer

田中義基 議員



問 下水道汚水管改築更新事業の補助について、国交省からの通達の内容は。
上下水道課長 国からの交付金交付要件では、9年度以降はウォーターPPPの導入を決定しておく必要がある。

問 上水道事業に關し、水道水からのPFAS(有機フッ素化合物)等の検出について、その状況説明はしないのか。
上下水道課長 各種の水質検査の結果は、当該年度末もしくは次年度当初に、町のホームページで一括して公表させて貰っている。PFAS等の検査結果も併せて、そのときに公表する。

◆年収の壁問題について
問 103万円の壁の引上げについて、考えられる当町への影響をどう思うか。
町長 仮に178万円に引き上げられた場合、本町個人町民税の減収額は約3億円。本町への地方交付税の影響額の試算は困難だが、国全体で約1兆円強が減収

◆竹鳩橋架け替えについて
問 この事業は、川南・木城を含む広域に受益の及ぶ事業でありながら、いかに補助率が高いからといって、補助残を高鍋町だけで負担することにはならないのではないか。
町長 橋を建てるのは非常に大きな事業に見えるが、15年間で8億円の負担。単年でいえば5千万円程度の投資というものは、住民サービ

町長 他町への負担のお願いは、期成同盟会で何度も話しているが、各町様々な事業があり、大きな投資をされている。もちろん協力したいという言葉はもらっているが。
問 町民には「今般大変大きな事業に取り組むことになり、そちらに財源を傾ける影響で、今後、要望に十分に応えることができなくなってしまう。」と、しっかりと情宣広報すべきじゃないか。
町長 橋を建てるのは非常に大きな事業に見えるが、15年間で8億円の負担。単年でいえば5千万円程度の投資というものは、住民サービ

(15)

令和7年2月発行(第180号)